



今を生きる「剣」 ～宮本武蔵から現代の私たちへ～

校長 中島直哉

今年の夏、大リーガーの大谷翔平選手が、投打の「二刀流」で大活躍を見せてくれました。また、映画『鬼滅の刃』も大ヒットし、「剣豪」である“柱”の一人一人や、主人公・竈門炭治郎（かまどたんじろう）の生きざまに多くの人が心を動かされました。

「二刀流」や「剣豪」といえば、やはり歴史に名を残す宮本武蔵を忘れてはなりません。宮本武蔵は、生涯において数多くの決闘を重ねながら、一度も敗れることのなかった天下無双の剣士であり、また、兵法書『五輪書』を著すなど、戦術や哲学にも優れた人物でした。

その『五輪書』の中で、武蔵は「鍛錬」について、次のように説いています。

～千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とする～

これは「千日（約3年）の稽古で技を習得し、万日（約30年）の稽古でその技を練り上げる」という意味です。また、

～勝負一瞬・鍛錬千日～

という言葉も残されており、「たった一瞬の勝負のためにこそ、千日・万日の鍛錬が欠かせない」と説いています。

剣を極め、二刀流を編み出した宮本武蔵は、強さの象徴的存在ですが、彼ほど剣の道に努力した人はいないとも言われています。

今、「努力」という言葉は「根性論」や「精神論」として軽視されがちかもしれません。しかし、私は、生徒たちに継続することの大切さ、努力し続けることの重要性を伝えたいと思います。そして、生徒たちが目の前の困難から逃げずに、苦手なことに果敢に挑戦する勇気とチャレンジ精神をもてるよう、私たち教職員も全力で応援していける学校でありたいと思います。

勝負にこだわり、勝つためには手段を選ばず、下剋上の世の中を勝ち抜いた宮本武蔵は、「独行道」という書物の中で自身の生き方について次の様な言葉を残しています。

- ・世々の道をそむく事なし(世の中のさまざまな道に背いてはならない)
- ・身をあさく思世をふかく思ふ(自分のことよりも、社会全体のことを深く思わなければならない)

宮本武蔵の生き様は、令和の時代に生きる私たちにも、多くの示唆を与えてくれるものだと思います。夏休みが終わり、これからの2学期をどのように過ごしていくのか、自分自身と向き合う今だからこそ、武蔵の言葉がひとつのヒントになるかもしれません。

今を生きる私たちにとっての「剣」とは、学びであり、挑戦であり、そして何より、困難に立ち向かう心の強さではないでしょうか。

皆さんにとってこの2学期が、目標に向かって己を磨き続ける時間となることを願っています。どうか、困難を恐れず、日々の鍛錬を大切にしながら、自分らしく大きく成長していきましょう。

非行防止・薬物乱用防止教室

7月17日（木）東川口法律事務所 弁護士・峯野哲也様をお迎えし、講演をしていただきました。「非行とは何か」「SNSと非行の関係」「刑事責任・民事責任」などについて、具体的な事例を交えながら、分かりやすくお話いただきました。生徒たちは関心をもって真剣に耳を傾けており、講演後には校長室まで質問に訪れる生徒もいるなど、大変有意義な時間となりました。



学校保健委員会

7月23日（水）代表生徒・保護者・PTA役員・学校医・教職員を対象とした学校保健委員会を実施しました。前半の保健委員会の発表では、歯に関する豆知識や効果的な歯磨きの方法の紹介をしました。後半は、味の素株式会社から小倉亮一氏をお招きし、「スポーツ選手が知っておくべき食事の考え方やアミノ酸の摂取の方法」というテーマで、講習会を実施しました。



中学生ボランティアリーダー研修会

7月25日（金）加須市防災教育推進事業の一環として、中学生ボランティアリーダー研修会が実施されました。本校生徒も参加し、災害時の行動についての実践的な研修を実施しました。大利根中から4名参加し、机上訓練、炊き出し訓練、負傷者の応急処置など積極的に行って行っていました。



東部地区吹奏楽コンクール

8月4日（月）、羽生市産業文化ホールで第66回埼玉県吹奏楽コンクール東部地区大会が開催されました。本校吹奏楽部もD部門で参加し、「銀賞」を受賞しました。



日	曜	9月の行事予定等	日	曜	9月の行事予定等
1	月	後期時間割開始 給食開始 学年朝会	16	火	生徒朝会
2	火	全学年実力テスト 専門委員会	17	水	ふれあいデー
3	水	2年貧血検査	18	木	
4	木		19	金	
5	金	PTA本部会	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月		23	火	秋分の日
9	火	2年職場体験学習 英語弁論大会	24	水	
10	水	2年職場体験学習	25	木	秋季大会（陸上） SC来校
11	木	安全集会（水害等） SC来校	26	金	生徒会役員候補者演説会・投票
12	金		27	土	秋季大会（体操）
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月	敬老の日	30	火	生徒朝会

